HD 革命 /WinProtector Ver.4

ユーザーズ・マニュアル

【ソフトウェア使用許諾書】

下記の条項は株式会社アーク情報システム（以下「ARK」といいます）が、「HD 革命 /WinProtector Ver.4」（コンピューター・ソフトウェア、マニュアル、その他関連資料を含み、以下「本ソフトウェア」といいます）に適用いたします。

1．使用許諾

①お客様は本ソフトウェアを、1台のコンピューターに限り使用できます。
②お客様は本ソフトウェアのバックアップを目的に、ただ一つの複製を作成することができます（バンドル版は除きます）。

2．使用許諾期間

①本契約は、お客様が本契約の内容に同意して本ソフトウェアの使用を開始したときより発効し、お客様が本ソフトウェアの使用を止められるまでを有効とします。
②お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、ARK は本契約を一方的に終了させていただくことがあります。

3．保証および責任の内容

① CD およびマニュアルに物理的な欠陥がある場合は、購入後 90 日以内は無償で交換いたします（バンドル版は除きます）。ただし、お客様は本ソフトウェアの購入日を証明できる写しを添付しなければなりません。それ以外の場合は実費をご負担いただきます。
② ARK は、本ソフトウェアの仕様およびサービスの内容を予告なしに変更することがあります。なお、本製品のサポートサービス終了に関しては、Web ページにてご案内をいたします。
③ ARK は、サポートを終了した製品に関しては、サポートサービスを提供する義務を負わないものとします。
④サポートサービスは、ARK の規定に沿って電話、メール、FAX で行いますが、サポートサービスがお客様の目的に適合することを保証するものではありません。
⑤ ARK は、ユーザー登録がなされない場合や、登録変更の届け出がなされない場合、またはその内容に不備がある場合において、ARK からお客様へ連絡の不達において生じる不利益および損害については、一切の責任を負うものではありません。なお、メール等でご案内する本ソフトウェアに関する情報やサポートサービスの内容に関しては、Web サイトでも同内容のご案内をしておりますので、こちらをもってお客様へのご連絡とさせていただきます。
⑥ ARK および Microsoft（バンドル版においては本ソフトウェアの提供先も含みます）は、いかなる場合にもお客様が本ソフトウェアを使用した結果に関して一切の責任を負うものではありません。
⑦本契約のもとで、本ソフトウェアの品質および性能に関して発生する問題は、お客様の費用負担をもって処理するものとします。
⑧本契約のもとで、ARK がお客様に負担する責任の総額は、本ソフトウェアの購入金額を超えないものとします。
⑨本ソフトウェアのサービス（主にサポートサービスとなりますがこれに限りません）は日本国内に限定されるものとします。また、日本語で対応することとします。

4．禁止事項

①本ソフトウェアを逆コンパイルまたは逆アセンブル、またはその他の方法でソースコードを解析すること。
②本ソフトウェアを譲渡、転貸、再販売、輸出すること。
③ ARK への文書による事前の承諾なしに、本ソフトウェアの二次著作物を創作、譲渡、販売、転貸すること。
④ ARK への事前の承諾なしに、本ソフトウェアを引用し書籍を刊行すること。
⑤ネットワークにおいて、本ソフトウェアを私的使用を超える範囲で利用すること。

5．その他

①お客様および ARK は、本契約に関連して発生した紛争については、東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所とするものとします。

著作権

・HD 革命 /WinProtector の著作権は株式会社アーク情報システムが有しています。
・HD 革命は株式会社アーク情報システムの登録商標です。

ご利用いただけるシステム環境

コンピューターシステム環境

オペレーティングシステム （日本語版のみ）	Windows 7（32 ビット版／ 64 ビット版・SP0 ～ SP1） Windows Vista（ 32 ビット版・SP2 以降） Windows XP（32 ビット版・SP3 以降） ※ Windows Vista/XP の 64bit 版には対応していません。 ※サーバー系のオペレーティングシステムには対応していません。 ※アドミニストレーター権限（管理者権限）が必要です。
コンピューター	上記のオペレーティングシステムが稼働するコンピューター（PC/AT 互換機のみ） ※ Macintosh（Mac）には対応していません。
メモリー	Windows 7（64 ビット版）：2GB 以上 Windows 7/Vista（いずれも 32 ビット版）：1GB 以上 Windows XP（32 ビット版）：512MB 以上 ※メモリー上に「一時ファイル」を設定する場合、保護を行うためのメモリーとは別に、インデックス用としてドライブのサイズ 10GB につき、20.625MB のメモリー容量が必要です。
CD/DVD ドライブ	CD-ROM が読み込めるドライブ
ハードディスク・SSD	50MB の空き容量（本製品のインストール用として）
対応ファイルシステム	FAT32、NTFS（FAT16、exFAT には対応していません） ※ダイナミックディスクの環境では使用できません。 ※ GPT ディスクには対応していません。

※ HD 革命 /WinProtector は、Symantec 社の「Norton GoBack」（「System Works」に含まれる「Norton GoBack」を含む）と共存できません。
※ OS 管理外のメモリーを使用するには、Intel955 以降のチップセット、または AMD Opteron/Athlon 64/Phenom など 8GB 以上のメモリーを利用できる CPU を搭載している必要があります。
※コンピューターによっては OS 管理外のメモリーを使用するに当たり、BIOS の設定（メモリーリマップ機能）を有効にする必要があります。BIOS によってはこの設定がない場合がありますので、コンピューター付属のマニュアル等でご確認ください。
※他の OS 管理外のメモリーを使用しているソフトウェアと同時には、OS 管理外のメモリーを使用することはできません。
※お使いの環境によっては、HD 革命 /WinProtector を使用している間は、Windows の休止状態 / サスペンド、スタンバイ / スリープなどの省電力機能が正しく動作しない場合があります。また、OS 管理外のメモリーを使用する場合は、省電力機能は使用できません。

インストール

製品 CD をドライブに挿入し、「インストール開始」をクリックします。

インストールの途中でシリアル番号を入力します。

Point

シリアル番号は、半角英字の大文字と半角数字で入力してください。ハイフン（－）も必要です。

（例）ABCD －E12－FGH345JK67

受け付けられないときは、全角文字や小文字になっていないかどうかを確認してください。

インストール後はコンピューターを再起動します。

アンインストールは、Windows の「コントロール パネル」を開き、「プログラムのアンインストール」、または「プログラムの追加と削除（アプリケーションの追加と削除）」から行ってください。

ドライブの保護／保護の解除

「ドライブの保護／保護の解除」を選択

Arkランチャーで「コンピューターの保護」→「ドライブの保護／保護の解除」を選択します。

保護の開始：　「開始」を選択

「開始」をクリックします。

保護を開始する前に準備中のメッセージが表示されます。環境によっては開始までに時間がかかります。

保護が開始すると、モニターウィンドウには保護の状態と一時ファイルの使用済み容量（%）が表示されます。

保護状態で Windows を使用し続けると、一時ファイルの使用済み容量（%）が増加します。この容量が規定値に達すると、コンピューターはシャットダウン／再起動します（「リミット時の動作」設定は 8 ページ参照）。

一時ファイルの使用済み容量が 100%になると、強制的にコンピューターが再起動します。

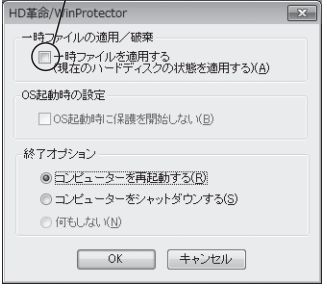
保護の解除：　「解除」を選択

「解除」をクリックします。

保護の解除：　終了ダイアログで設定

終了ダイアログ（詳細は 5 ページ）で、保護中にドライブに書き込まれた内容を適用するかどうか、また、その後の動作を選択します。

変更内容を適用する場合はチェックを入れます。



Point

終了ダイアログは保護中に Windows をシャットダウン・再起動する場合にも表示されます。「詳細設定」オプションで表示しないようにすることもできます。

保護を解除中にはメッセージが表示されます。環境によっては解除までに時間がかかります。

解除セレクターと終了ダイアログ

解除セレクター

● OS 起動時から保護を開始する場合

Windows の起動時に、保護を解除するセレクターが表示されます。カウントされている間に「ESC」キーを押すと保護を解除することができます。

```
 Welcome to WinProtector Ver.4.0
 Copyright (C) 2011 ARK Information systems Inc.All rights reserved.

Press [ESC] key to cancel protection ,
Press another key to start protection ...   6
```

保護解除用のパスワードを設定している場合はパスワードの入力を求められます。ここで入力を 3 回間違えると入力が中止され、保護された状態で Windows が起動します。

```
Enter password, press [Enter] to confirm :
```

※「ESC」キーを押すと保護を解除せずに Windows が起動します。

●継続保護を行う（リアルモードから保護を開始する）場合

オプションの「その他の設定」で「シャットダウン／再起動時に一時ファイルの内容を継続する」を選択している場合は、OS 起動時からの保護とは異なるメッセージのセレクターが表示されます。

カウントされている間に「ESC」キーを押すと本当に保護を解除するかの確認がもう一度あり、「Y」キーを押すと保護を解除することができます。

```
Press any key to start protection (Press "ESC" for cancel)
```

保護解除用のパスワードを設定している場合、パスワードの入力を求められます。正しいパスワードを入力しない場合は保護を解除して Windows を起動することができません。

```
Enter Password, press "Enter" to confirm : _
Press "ESC" to start protection.
```

※「ESC」キーを押すと保護を解除せずに Windows が起動します。

Point

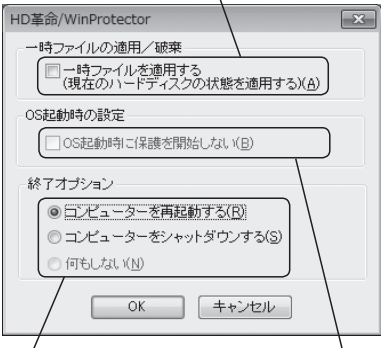
オプションの「その他の設定」で「コンピューター起動時／終了時の設定」が「リアルモードから保護を開始する」だった場合、このメッセージが表示されます。

終了ダイアログ

Windows のシャットダウン／再起動時に表示される終了ダイアログは、コンピューターを再起動、またはシャットダウンしようとしたときに表示されます（ログオフでは表示されません）。

ここでは、変更の適用と次回起動時の動作を選択します。

保護を開始してから変更された内容をドライブに書き込みます。8 ページの「リミット時の動作」の設定で「現在の状態をドライブに適用後、保護を継続する」が選択されている場合はチェックが入った状態になり、必ず変更が適用されます。



終了時の動作を選択します。「何もしない」は変更内容をドライブに適用する場合にのみ選択できます。

次回の OS 起動時に保護をしない場合にチェックを入れます。OS 起動時に保護を開始する設定になっていない場合は選択できません。

Point

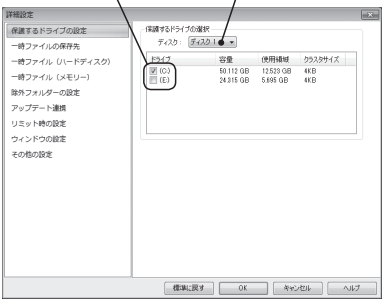
「OS 起動時に保護を開始しない」オプションを選択すると、「詳細設定」オプションで「OS 起動時に保護を開始する」のオプションが無効（チェックが外れた状態）になります。OS 起動時から保護を行う場合、「詳細設定」オプションの「その他の設定」で「OS 起動時に保護を開始する」にチェックを入れてください。

オプションの設定

保護するドライブ

保護するドライブにチェックします。

保護するディスクを選択します。



Point

一時ファイルとはドライブへの書き込み内容を保存するファイルですが、クラスタサイズに比例して消費量が大きくなります。
つまり、同じファイルをクラスタサイズが異なるドライブに書き込んだ場合、4KB よりも 8KB のほうが一時ファイルの消費量は 2 倍となります。
また、複数のドライブが選択されている場合、一番大きいクラスタサイズが使用されるため、保護するドライブに FAT32 と NTFS が混在するような環境では、NTFS だけの場合に比べて一時ファイルの消費量は大きくなります。

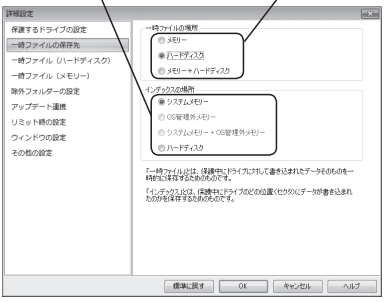
⚠ 512 バイトエミュレーションを行っていない 4K セクター（4K ネイティブ）フォーマットのハードディスクは使用できません。

一時ファイルの保存先

ここでは、変更の適用と次回起動時の動作を選択します。

インデックスを作成する場所を選択します。64 ビット版の Windows では「OS 管理外メモリー」は選択できません。

ドライブの保護に必要な一時ファイルを作成する場所を選択します。



Point

インデックスは保護中のドライブのどのセクターが使用されたかを記録するものですが、保護するドライブのサイズ 10GB につき、20.625MB の容量が必要です。保護するドライブのサイズが大きくなるほど、必要な容量が大きくなります。
「一時ファイル」と「インデックス」をメモリーに設定すると、より多くのメモリー容量が必要となるため、環境によっては保護を行うことができなくなります。メモリーが不足する場合は、ハードディスクに設定してください。

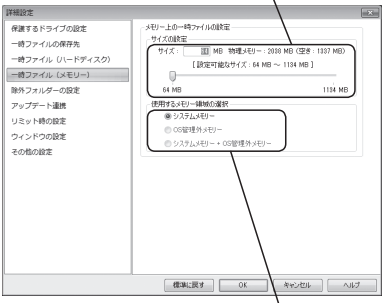
一時ファイル（ハードディスク）

一時ファイルの保存先ドライブを指定します。

ハードディスク上に作成する一時ファイルのサイズを指定します。

一時ファイル（メモリー）

メモリー上に作成する一時ファイルのサイズを指定します。

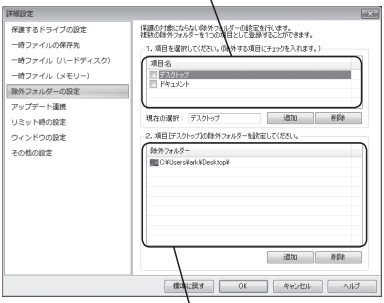


使用するメモリー領域を選択します。64ビット版のWindowsでは「OS管理外メモリー」は選択できません。

「Simple Edition」に、「除外フォルダーの設定」、「アップデート連携」機能はありません。

除外フォルダーの設定

保護中に除外する（保護しない）項目を選択します。「追加」をクリックすると新しく項目を作成できます。



上で選択した「項目名」で設定されている保護しないフォルダーが表示されます。新しく項目を作成した場合は、「追加」をクリックしてフォルダーを追加します。

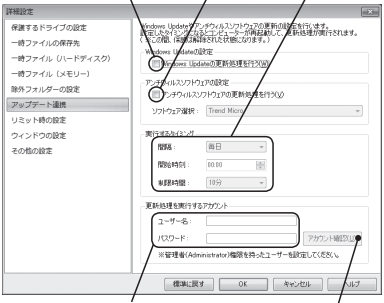
除外フォルダーの利用（ファイルの移動）には注意が必要です。ご利用前に、付属のPDFマニュアル2-12ページをお読みください。

アップデート連携

アンチウィルスソフトの更新を行うかどうかを選択します。対象のアンチウィルスソフトがインストールされていない場合は選択できません。

Windows Updateを行うかどうかを選択します。

指定した時間に更新が開始します。

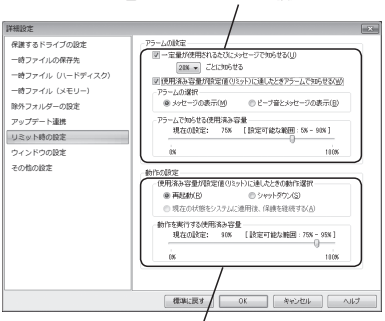


Windows Updateやアンチウィルスソフトによりコンピューターの再起動が行われた場合、自動的にログオンするためのユーザー名とパスワードを入力します。

クリックすることで、入力した内容が有効かどうかを確認できます。

リミット時の動作

一時ファイルが何%まで使用されたときに警告を出すかどうかを設定します。

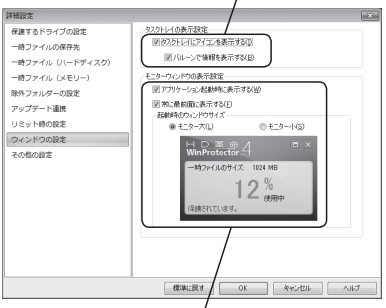


上記の警告とは別に、一時ファイルが何%まで使用されたときに選択した動作をさせるかを設定します。ドライブに適用する場合は一時的に保護を解除して一時ファイルに保存された内容をドライブに書き込み、その後再度保護を行います。
「Simple Edition」には、「現在の状態をシステムに適用後、保護を継続する」機能はありません。

一時ファイルが100%になると、保護を継続できなくなります。一時ファイルが100%になりコンピューターが再起動（シャットダウン）すると、一時ファイルの変更内容が破棄されます。次回起動時は、前回保護を開始した時の状態となります。保護中は、必要な（消えては困る）データは保護するドライブ以外に保存してください。

ウィンドウの設定

タスクトレイのアイコンの表示方法を設定します。



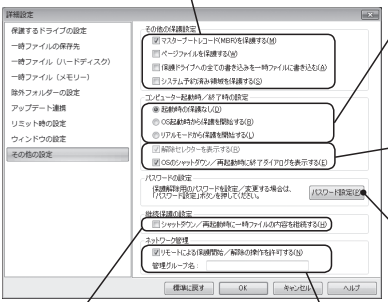
モニターウィンドウの表示方法を設定します。

Point

オプションの中には同時に選択できない機能があります。この場合は、オプションを設定した際にメッセージが表示され、同時に使用できない機能の設定が自動的に変更されます。

その他の設定

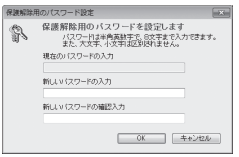
保護する対象を選択します。「ページファイルを保護する」と「保護ドライブへの全ての書き込みを一時ファイルに書き込む」を選択した場合、一時ファイルの使用容量が保護しないときよりも増加します。



保護を行うタイミングを設定します。
・起動時の保護なし：
　起動時の保護は行われません。
・OS 起動時から保護を開始する：
　Windows の起動時から保護を行います。
・リアルモードから保護を開始する：
　コンピューターの起動時から保護を行います。

保護を解除、設定するためのセレクター、ダイアログを表示するかどうかを設定します（5 ページ）。

保護を解除するためのパスワードを設定します（半角英数 8 文字まで）。



再起動後も一時ファイルを破棄せずに継続して使用します。これにより、インストール後に再起動を行うようなアプリケーションでも、変更を適用することなく継続して使用できるようになります。
「Simple Edition」には、この機能はありません。

別のコンピューターにインストールされているネットワークマネージャーからリモートでの操作を許可するかどうかを設定します（「with Network Manager」版のみ）。

Point

「保護ドライブへの全ての書き込みを一時ファイルへ書き込む」オプションについて

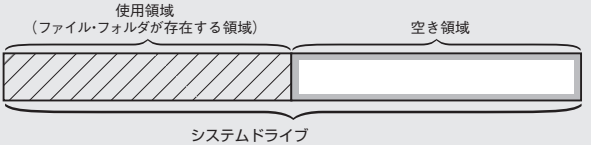
HD 革命 /WinProtector では、ドライブの保護中に使用領域（保護を開始した時点でファイル・フォルダーが存在する領域）の変更が行われると、その変更は「一時ファイル」に書き込まれます。新規に作成するファイル・フォルダーにおいては通常「空き領域」に書き込まれますが、この「空き領域」を保護するかどうかで、一時ファイルの使用量に次のような違いがあります。

・オプションを使用しない（「空き領域」への書き込みはそのまま書き込む）

ドライブの「空き領域」への書き込みは、実際のファイル・フォルダーは「空き領域」に書き込み、ファイル・フォルダーの登録情報のみ一時ファイルに書き込みます。これにより、一時ファイルの使用量を節約することができます。

・オプションを使用する（「空き領域」への書き込みを「一時ファイル」に書き込む）

ドライブの「空き領域」も保護の対象となり、保護中のドライブへの書き込みは、空き領域への書き込みも含めすべて一時ファイルに書き込まれます。このオプションを使用すると、保護中のドライブへの書き込みは行わないので、一時ファイルの使用量は増加しますがセキュリティは向上します。



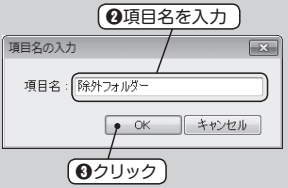
除外フォルダーを追加する方法（「Simple Edition」は対応していません）

HD 革命 /WinProtector では、除外する（保護を行わない）フォルダーを設定することができます。

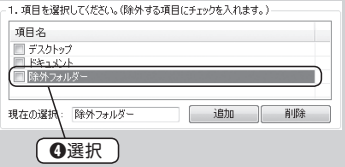
リストには初期設定で「デスクトップ」や「ドキュメント」が登録されていますが、任意のフォルダーを追加して除外することもできます。ここではその手順を説明します。

1「詳細設定」オプションの「除外フォルダーの設定」画面で、項目名一覧の下にある「追加」をクリックします。

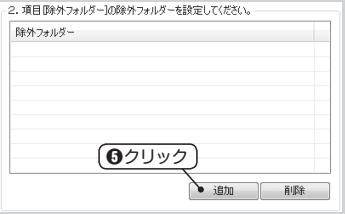
2 項目名を入力します。



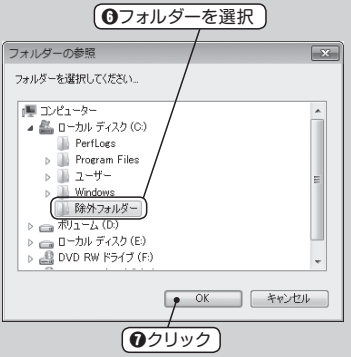
3 追加された項目を選択します。



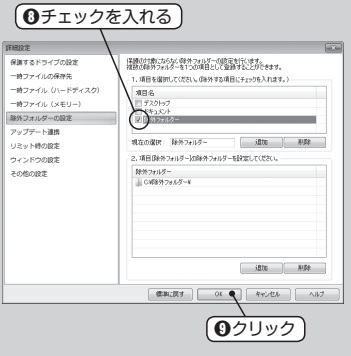
4「除外フォルダー」の下にある「追加」をクリックします。



5 フォルダーを選択します。



6 除外するフォルダーの内容を確認し、チェックボックスにチェックを入れます。「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

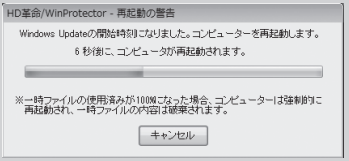


HD 革命 /WinProtector による保護中であっても、ここで設定したフォルダーは保護されずに変更が行われます。

Windows Update 実行時の動作について （「Simple Edition」は対応していません）

HD 革命 /WinProtector で保護を行っている間に Windows Update を行う設定にしている場合は、開始時刻になると自動的にコンピューターが再起動します。Windows Update 中は保護が解除された状態となり、何回かコンピューターの再起動が行われます。

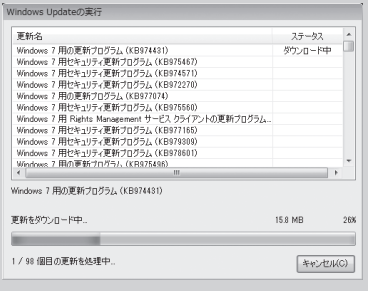
1 Windows Update の開始時刻になると次のメッセージが表示され、コンピューターが再起動します。



2 Windows Update が行われる場合、Windows の起動前に次のメッセージが表示されます。Windows 7/Vista を使用している場合はこの前に「Reboot for windows update/Anti-virus software update...」と表示され、一度コンピューターの再起動が行われます。

```
Prepare for windows update ...
```

3 デスクトップ画面が表示された後にWindows Update が開始します。このとき、次の画面が表示され、Windows Update（ファイルのダウンロードとインストール）が行われます。Windows Update が行われている間は Windows の操作はできません。「キャンセル」をクリックして Windows Update を途中で止めることもできます。



4 リストに表示された更新のインストールが終了すると、コンピューターが再起動します。このとき Windows の起動前に次のメッセージが表示され、起動途中に Windows Update が行われます。更新処理が終了するともう一度コンピューターが再起動します。

```
config windows update ...
After the update is complete, the system will automatically restart ...
```

Point

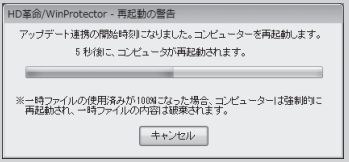
更新する Windows Update の内容によっては、この画面は表示されません。

「Windows Update の設定」画面（7 ページ）で設定した制限時間が経過すると、Windows Update の更新が全部終わっていない場合でも途中でキャンセルされ、コンピューターが再起動します。このときは下のメッセージが表示されますが、このメッセージは自動的に閉じます。
Windows Update が途中でキャンセルされた場合でも、制限時間内にインストールされた更新は有効となりますので、同じ更新内容が重複してインストールされることはありません。次の開始時刻がきて Windows Update が開始すると、まだインストールされていない残りの更新のダウンロード、インストールが行われます。

アンチウィルスソフトウェアの更新動作について（「Simple Edition」は対応していません）

HD 革命 /WinProtector で保護を行っている間にアンチウィルスソフトウェアの更新を行う設定にしている場合は、開始時刻になると自動的にコンピューターが再起動します。更新中は保護が解除された状態となり、何回かコンピューターの再起動が行われます。

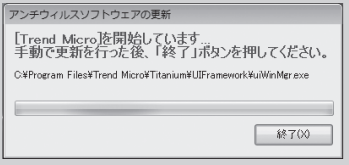
1 アンチウィルスソフトウェアの更新開始時刻になると次のメッセージが表示され、コンピューターが再起動します。



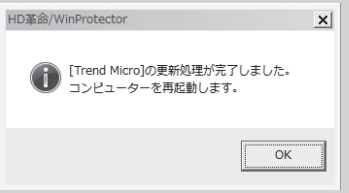
2 Windows の起動前に次のメッセージが表示されます。Windows 7/Vista を使用している場合は、この前に「Reboot for Windows update / Anti-virus software update...」のメッセージが表示され一度コンピューターの再起動が行われます。

```
Prepare for Anti-Virus Software Update...
```

3 デスクトップ画面が表示された後にアンチウィルスソフトウェアの更新が開始されます。このとき、次の画面が表示された後、アンチウィルスソフトウェアの操作画面が起動し更新が行われます。
この処理は時間がかかりますので、終了するまではそのまましばらくお待ちください。なお、「終了」をクリックして更新を止めることもできます。



4 リ更新処理が完了すると次のメッセージが表示されますが、このメッセージは自動的に閉じられコンピューターの再起動が行われます。



Point

「詳細設定」オプションの「アップデート連携」の画面で、Windows Update とアンチウィルスソフトウェアの両方を設定した場合は最初にアンチウィルスソフトウェアの更新が行われ、アンチウィルスソフトウェアの更新が完了後に Windows Update が行われます。

ネットワークマネージャー （「with Network Manager」のみ）

ネットワークマネージャーは、ネットワークに接続された HD 革命 /WinProtector がインストールされているコンピューターを検索し、保護の開始・解除をリモートコントロールするツールです。

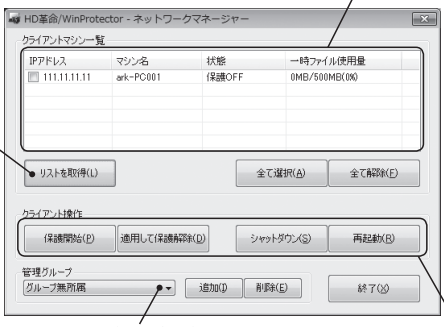
ネットワークマネージャーのインストール

製品 CD をドライブに挿入し、「Network Manager」フォルダーの中にある「WP NetworkManagerSetUp.exe」を実行します。

ネットワークマネージャーのメイン画面

Windows のスタートメニューで「HD 革命 WinProtector 4」→「WinProtector ネットワークマネージャー」を選択するとメイン画面が表示されます。この画面でクライアントコンピューターの操作を行います。

クライアントとして利用可能なコンピューターの状態が表示されます。



HD 革命 /WinProtector がインストールされ、コントロール可能なコンピューターを検索して一覧に表示されます。

ここで選択した管理グループ名が設定されているクライアントのみリストに表示されます。
初期設定では管理グループ名は「グループ無所属」が 1 つだけなので、他のグループ名のクライアントを表示する場合は「追加」で管理グループ名を登録します。

一覧で選択したクライアントコンピューターの保護の開始、解除を行います。変更を適用せずに保護を解除する場合は、シャットダウンまたは再起動を行います。

HD 革命 /WinProtector がインストールされているコンピューターには、ネットワークマネージャーをインストールできません。

Point

クライアントとなるコンピューターの管理グループ名は、HD 革命 /WinProtector の「その他の設定」画面（9 ページ）で設定します。

データトランスファー（「Simple Edition」は対応していません）

HD 革命 /WinProtector によってドライブが保護されている間は、保護したドライブに保存したデータが実際に保存されているように見えますが、実際にはハードディスクまたはメモリーに書き込まれているだけとなっています。そのため、書き込まれた内容を「ドライブへ適用」せずに保護を解除すると、それらのデータは失われて保護前の状態に戻ります。

通常は「ドキュメント」、「メールデータ」、「お気に入り」などの保存先はシステムドライブ（C ドライブ）に設定されているため、HD 革命 /WinProtector で C ドライブを保護すると、これらに保存したデータを「ドライブへ適用」しない限りデータが失われることになります。

「データトランスファー」は、通常は C ドライブに設定されている「ドキュメント」などの保存先フォルダーを別ドライブに移行するためのツールです。例えば、データトランスファーで保存先を D ドライブに移行すると、「ドキュメント」などのデータの保存先フォルダーが D ドライブに変更されます。以後「ドキュメント」などに保存したデータは自動的に D ドライブに移行したフォルダーに保存されるようになり、ドライブの保護の解除時に「ドライブへ適用」をすることなく、それらのデータが保存されます。

データトランスファーでデータを移行するに当たってはいくつかの注意事項がありますので、付属の PDF マニュアルの 1-6 ～ 1-7 ページの注意事項・制限事項をご覧ください。

●簡単モード（初心者向け）

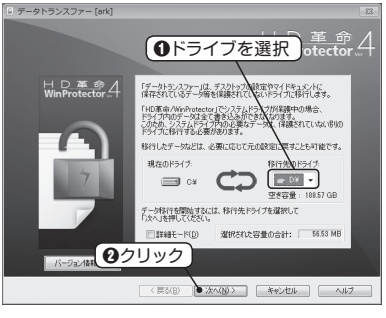
簡易モードでは、すべての設定を別ドライブに移行します。

「ドキュメント」「メールデータ」など個別に設定する場合は詳細モード（付属の PDF マニュアル 3-3 ページ）を使用します。

⚠ データトランスファーは保護を解除した状態で実行してください。

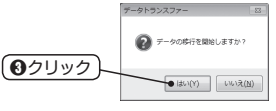
1 「データトランスファー」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「データトランスファー」を選択し、移行先ドライブを指定します。



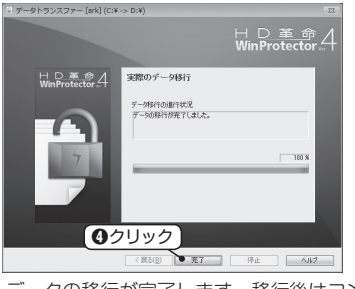
2 データ移行の確認

「はい」をクリックすると移行が始まります。



3 データ移行の完了

データの移行が完了します。



データの移行が完了します。移行後はコンピューターの再起動が必要です。

Point

データ移行の設定を元に戻す場合は、データトランスファーの操作によって設定を戻す必要があります。操作方法は、付属の PDF マニュアルをご覧ください。

ユーザーサポートのご利用について

（必ずユーザー登録終了後にユーザーサポートをお申し込みください）

お問合せになる前に

①操作方法・トラブル内容について調べる

インターネット接続が可能な場合は、FAQ（よくあるお問合せ）をご覧ください。操作上の注意点、トラブル内容と対処方法などが記載されています。

http://www1.ark-info-sys.co.jp/support/index.html

②アップデータをダウンロードする

最新アップデータを適用することにより、改善する場合があります。下記からダウンロードしてください。

http://www1.ark-info-sys.co.jp/download/index.html

③弊社サポートへ問い合わせる

上記によっても解決しないとき、またはインターネット接続ができない場合に弊社ユーザーサポートをご利用ください。

ユーザーサポート・お問い合わせ先

■メールフォーム：
https://www2.ark-info-sys.co.jp/ARK_N/MailSupport/MainGate.asp

■ FAX：03-3234-9252

■ TEL：03-3234-9251（祝祭日・弊社休業日を除く㈪～㈮の10 ～12 時、13 ～17 時）

※ FAX の場合、下に示す各項目を記載し、送信をお願い致します。付属のPDFマニュアルの付録-9 ページ～を印刷してご利用いただくと便利です。

※メール・FAX の場合、お問合せ内容によっては3～5営業日ほどお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

※電話の場合、曜日や時間帯によってはお問合せが集中し、つながりにくくなる場合がございます。その際は、恐れ入りますが時間をずらしてお電話をいただきますようお願いいたします。

お問い合わせの際は、以下の内容をご連絡ください。

弊社からお客様への連絡方法： FAX ／ E-Mail のいずれか

本製品のシリアルナンバー： ……

お名前（会社名・ご担当者名）： ……

……

TEL： ……　**FAX：** ……

E-Mail： ……

コンピューターのメーカー、機種： ……

……

メモリー容量： ……

ご使用の OS（32bit ／ 64bit）：（例 Windows 7 HomePremium 64bit 版）

……

……

現象： ……

……

……

……

……

……

……

……

……

・Microsoft ®, Windows®7, Windows®Vista, Windows®XP, Windows PE は米国 Microsoft Corporation の、米国および他の国における登録商標または商標です。
・その他の会社名、商品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

HD 革命 /WinProtector Ver.4　ユーザーズ・マニュアル
株式会社アーク情報システム　〒102-0076　東京都千代田区五番町 4- 2　東プレビル

ⓒ2012 Ark Information Systems
乱丁・落丁はお取り替えいたします。著作権法の範囲を超え、本書を無断で複写、複製、転載することを禁じます。

4.1.2012